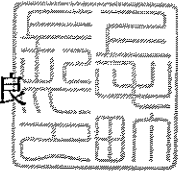


20上建第 1073号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

上毛町長 鶴 田 忠 良



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった標記の件
について、別紙のとおり提出します。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福岡県上毛町

「道」、それは私たちにとってあまりに身近なものであるがゆえに、その大切さや存在すら気にとめないものようになっていきます。

クルマ社会が定着している現在社会において、交通渋滞、交通安全、沿道環境等の基本的課題に対して、国民の意見を求めながら21世紀の社会基盤整備を計画的に充実させ、安全で快適な社会生活環境の実現に向けて日々努力されておられることにつきまして、まず敬意を表します。

現在の道路行政全般を見てみますと、都市集中型の道路網の整備がなされているように見受けられます。

道路整備が遅れている地方においては、活力ある地域づくりを推進するために計画的かつ緊急的に整備が進められるよう必要な道路予算を確保し、地方が期待する道路整備を推進することが急務であります。

道路は、地域経済の活性化や、安心、安全な地域社会の形成はもとより、交通環境の改善や、教育、医療、福祉等の生活環境の向上を図る上で、最も基礎的な社会資本であります。

特に、地方にとっては、宅地の増加や企業誘致を活発にし、発展を期待していくためには、道路が整備されることが必須でありますし、地方が活発になってこそ、国全体が活気あるものになると考えております。

そのためにも、ぜひ地方自治体要望の道路整備を最優先していただきたい。

②-1 地域の現状と抱える課題

福岡県上毛町

○現状

町内の道路状況は、国道と県道10路が縦、横に連絡し、全集落がこの国道、県道に接するか、舗装された町道で連絡できます。

町内道路の路線は、国道、県道、町道合計 324,317mにおよび、路線としての整備状況は比較的良いといえます。

しかし、集落内の道路については、幅員がまだ狭い部分が多く、道路拡幅などの改善要望が多く寄せられているのが現状です。

○課題

国道10号の開通や、行政の広域化への対応のための周辺市町と連絡する幹線道路の整備により、交通の利便性が大幅に増加したものの、通過交通量の増大により、騒音、交通事故等も増加傾向にあり、歩道（国県道共に不十分）自転車専用道等の設置を含め、交通安全対策も重要となっています。

これらを解決するためにも、利便、安全、バリアフリー、景観等に配慮しながら、町内を移動しやすい交通ネットワークの再構築とその整備が必要となっています。

さらに、高齢化社会の到来に伴い、高齢者や障害者の行動範囲を確保し、また広げるためには現在運行中の巡回バスを含め、財政に負担が及ぶとはいえ公的な施策の充実が求められています。

②－２ 地域の目指すべき将来像

福岡県上毛町

地域発展のため、歩行者及び自転車通行者のための安全対策を充実させるなど、町内を移動しやすい交通ネットワークづくりの再構築を進めます。

また、高齢者や障害者等の行動範囲を広げるため、新たな移動サービス制度の導入も検討します。

さらに、国道１０号を中心に、周辺市町との幹線道路や東九州自動車道整備も視野に入れた道路ネットワークの具体的な検討を進めます。

そのためには、住民ニーズの観点や費用対効果を踏まえ、優先順位の高い箇所に重点を置きながら、道路交通環境の充実を図っていきます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福岡県上毛町

○重点事項	○代表事項	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	東九州自動車道のスマートインターチェンジの設置	観光客の増加、企業の立地、地域商工業の活性化、地域経済への波及効果	
	国道１０号の４車線化	交通渋滞の緩和、地域経済への波及効果	
	道路ネットワークの推進	道路交通環境の充実、医療圏の拡大及び救急医療の充実	
・大規模な地震、火災に強い国土づくり	道路の重要構造物の老朽化への対応	橋梁の補修による長寿命化	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	生活道路の整備	交通事故の減少、安全安心な町づくり、車社会に適合した道路建設	
	山間集落への道路の迂回路整備	災害時の避難経路確保	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	自転車道・歩道の整備	段差が少なく、歩きやすい歩道、ベビーカーや車椅子の通れる歩道	